

# 球磨工 人権だより

2月号 No8 人権教育推進委員会

## ❁自立は大事！でもひとりで抱え込み過ぎないで❁

2月に入り、新しい年度を迎える日が少しずつ近づいてきました。  
この先のこと、将来のこと、考える時期ではないでしょうか (\*▽\*)❁  
高校は社会に出る一歩前の段階とも言えます。

現在皆さんは、保護者の方や先生方に様々な場面で支えられご指導いただきながら過ごしていますが、就職や進学をすると今のような環境ではありません。  
そのため、勉強や運動を精一杯に頑張り、プライベートも充実させながら、  
“自立”を意識して過ごす必要があります。

しかし、“自立”していくからこそ！皆さんにお伝えしたいのは、  
「ひとりで抱え込み過ぎないで！」ということです。自立は大事ですが、  
時には頼るべき時もあります。相談する勇気を持ち、相談するための情報や手段を得ておくことも大切です。

**自立してもなお、あなたはひとりじゃありません。**必ず誰かが、手を差し伸べてくれます。在学中は、学校の先生方や友達に相談することももちろん可能ですが、卒業後も、支援してくれる場はたくさんあります。

熊本県のHP (<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/57/50609.html>)  
には、「人権に関する相談窓口」として、多くの機関が紹介されています。  
ぜひ一度検索してみてください。

皆さんには、卒業する前に、  
思い悩んだ時に頼る場所を見つけて  
おいてほしいと思います。

悩んでいる友達がいたら、  
支えてあげましょう。  
相談窓口を教えてあげることも  
その方法の1つです。



## 相談窓口の一例

熊本県人権センター  
TEL：096-384-5822

八代市人権啓発センター  
人権相談窓口  
TEL：0965-30-1710

みんなの人権 110番  
TEL：0570-003-110

\*\*\*\*\*

## 生徒コラム「映像の裏にあるもの」(2年生 男子)

ある動画サイトに次のようなものがアップされていました。

道端に座り込むホームレスの前を一人の男性が横切り、スマートフォンを落としたことに気づかない様子で歩いていきました。ホームレスは、スマートフォンを拾い上げて男性を呼び止めようとしたのですが、男性は行ってしまいました。数分後、男性がスマートフォンを探しながら戻ってきたところ、ホームレスが「落としましたよ」と手渡すと、男性は「ありがとう」とハグをし、封筒に入った大金を渡しました。ホームレスはお金を見て涙を流して喜びました。

以上のような内容ですが、皆さんはどのように感じますか？

近年、このような「善意を善意で倍返す動画」が一大ジャンルになっているようで、世界中で再生回数を伸ばしています。その多くがホームレスなどの困窮している人を対象にしたもので、偶然撮影されたものというよりも、他者の善意をテストするようなものになっています。私は、当初は素直に感動し、このような優しさの連鎖が広がって行けばいいなと思いましたが、後になって疑問が湧き上がってきました。「これって正しいこと？」「優しさ？」「フィクション？」「動画が拡散していることをホームレスの人は知っているの？」「スマホを渡さなかったらどうなっていたの？」「人権的に大丈夫？」「制作者の意図は再生回数？知名度？広告収入？」…少し考え過ぎかもしれませんが、もしかすると制作者はただ単に感動を共有したく、助け合える世の中になってほしいという思いだったのかも知れません。しかし、誰もが自由に映像を作り、世界中に公開できる時代なので、作る側のモラルと見る側の正しい判断力が求められると思いました。若者による飲食店でのいたずら動画などが大きな問題となっていますが、他者を思う気持ちがあれば、このようなことは起きないと思います。

